

単位：円

計画 番号	実施計画事業	予算事業	事業概要（実施計画時点） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業費	特定財源				臨時交付金 充当額	一般財源	対象外経費	施策の効果
					国庫支出金	県支出金	寄附金	その他				
1	新型コロナウイルス感染症自宅療養者 支援	防災対策事業	①新型コロナウイルス感染症を罹患し、自宅での療養が可能な感染者等に対し、食料等を宅配し、日常生活をしながら療養することに対する不安や負担を軽減するとともに買い物のための外出による感染拡大防止を図る。 ②自宅療養者食料支援事業の業務委託費 ③食料等 3,500円×5,916箱=20,706,000円…ア 保管料 2,500円×3,350パレット=8,375,000円 入荷手数料 60円×5,916箱=354,960円 出荷手数料 60円×5,916箱=354,960円 事前準備作業料 550円×5,916箱=3,253,800円 ダンボール料 59円×5,916箱=349,044円 宅配料 29,950円×102回=3,054,900円 小計 15,742,664円…イ ア+イ=36,448,664円 消費税 3,644,866円…ウ 合計 ア+イ+ウ=40,093,530円≒40,094,000円 ④市内在住の療養者のうち、食料支援等を希望する者の世帯	3,973,420	0	0	0	0	3,973,420	0	0	新型コロナウイルス感染症に罹患し、自宅療養となった感染者等が日常生活を送りながら療養できるよう食料支援を実施することで、外出による感染拡大を防止につなげることができました。
2	市民会館トイレ手洗器自動水栓化	管理運営事業（市民会館）	①新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、利用者が使用する手洗い場を自動水栓化する。 ②需用費 3,168,000円 ③88,000円（税込）×36か所=3,168,000円 ④市民会館内トイレ手洗器	2,810,880	0	0	0	0	2,810,880	0	0	市民会館内トイレの手洗い器を自動水栓に改修したことで、水栓を介しての人との接触機会が減少し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができました。
3	市民センタートイレ手洗器自動水栓化	管理運営事業（市民センター）	①新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、利用者が使用する手洗い場を自動水栓化する。 ②需用費 5,984,000円 ③88,000円（税込）×68か所=5,984,000円 ④市民センター（6館）内トイレ手洗器	5,309,480	0	0	0	0	5,309,480	0	0	市民センター内トイレの手洗い器を自動水栓に改修したことで、水栓を介しての人との接触機会が減少し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができました。
4	斎場トイレ手洗器自動水栓化	管理運営事業（斎場）	①新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、利用者が使用する手洗い場を自動水栓化する。 ②需用費 704,000円 ③88,000円（税込）×8か所=704,000円 ④斎場内トイレ手洗器	624,640	0	0	0	0	624,640	0	0	斎場内トイレの手洗い器を自動水栓に改修したことで、水栓を介しての人との接触機会が減少し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができました。
5	内間木支所トイレ手洗器自動水栓化	管理事業（内間木支所）	①新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、水栓を自動化する。 ②施設等修繕料 ③自動水栓設置 75,185円×4か所=300,740円 既設撤去処分（一式） 110,000円 合計410,740円 ④内間木支所（トイレ手洗器）	286,000	0	0	0	0	286,000	0	0	内間木支所内トイレの手洗い器を自動水栓に改修したことで、水栓を介しての人との接触機会が減少し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができました。
6	朝霞台出張所トイレ改修	施設改修事業（朝霞台出張所）	①新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、施設トイレの手洗器を自動水栓、女子トイレを洋式化する。 ②施設改修事業 ③（節）工事請負費（細節）施設改修工事 1,011,000円 （内訳）手洗器自動水栓交換（3箇所）195,000円 女子トイレ洋式化改修（1箇所）724,000円 ④【対象施設】朝霞台出張所 （多目的トイレ・男子トイレ・女子トイレ）	998,000	0	0	0	0	998,000	0	0	朝霞台出張所内トイレの手洗い器を自動水栓化及び女子用トイレの和式便器を洋式便器に改修したことで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができました。
7	障害福祉施設従事者処遇改善補助	障害者施設等運営支援事業	①新型コロナウイルス感染症対策として国の予算で実施される障害福祉施設職員を対象とした収入の引上げ措置に伴い、国の支援の対象とならない障害福祉施設に対し、職員の処遇改善費を補助。 ②補助金 ③4施設15人×5,000円（月/1人当たり）×12か月=900,000円 ④国の支援の対象とならない障害福祉施設（施設職員）	900,000	0	0	0	0	900,000	0	0	新型コロナウイルス感染症対策として、国の支援対象とならない障害福祉施設に対し、職員の処遇改善費の補助金を交付したことで、施設の継続的な運営を支援することができました。

単位：円

計画 番号	実施計画事業	予算事業	事業概要（実施計画時点） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業費	特定財源				臨時交付金 充当額	一般財源	対象外経費	施策の効果
					国庫支出金	県支出金	寄附金	その他				
9	水道事業会計補助	水道事業会計補助事業	①コロナ禍において、全水道使用者（官公署を除く）の経済的な負担を軽減するために、令和4年8月施行の水道料金の改定に伴う増額分の1/2の料金を減額する。 効果：水道料金の負担が軽減されることにより、使用者の経済的な負担が軽減される。 ②・全水道使用者への負担軽減：6,500,000円×6ヶ月＝39,000,000円 ・システム改修等（負担軽減に対応するための料金システムの対応等）：4,000,000円 ・周知（チラシ作成・配布〔約70,000枚〕）：500,000円 計：43,500,000円 ③対象数：約69,000戸（官公署を除く） 単価（減額分）：（料金改定後の水道料金（令和4年8月1日以降）－料金改定前の水道料金（令和4年7月31日以前））×1/2 ④全水道使用者（官公署を除く）	43,500,000	0	0	0	0	43,500,000	0	0	令和4年8月に改定した水道料金増額分のうち、2分の1の料金を減額したことで、水道使用者（官公署を除く）の経済的な負担を軽減することができました。
10	中小企業融資利子補給補助	中小企業支援事業	①新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済対策として、朝霞市中小企業融資制度利用者の負担を軽減するため、利子補給割合を増加する。 ②補助金 ③5,333,000円（R4当初予算要求額）×7/4（利子補給率割戻し） ＝9,332,750円－5,333,000円＝3,999,750円 ④朝霞市中小企業融資制度利用者	1,586,204	0	0	0	0	1,586,204	0	0	市の融資制度利用者に対して支給している利子補給補助金を拡充したことで、市内事業者を支援することができました。
11	子ども相談室家庭訪問等のオンライン化	教育相談事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での家庭訪問等が難しい場合でも、スクールソーシャルワーカー用のパソコン2台を整備することで、スクールソーシャルワーカーが本人や家庭と円滑に連絡をとることができ、継続的な支援を実施できる。 ②ノート型パソコン 162,500円 初期設定費用 45,000円 ウイルス対策ソフト 14,800円 配線作業 12,000円（2台） LANケーブル 2,830円 ③ノート型パソコン2台 231,130円×2台×1.1＝508,486円 ④朝霞市子ども相談室 スクールソーシャルワーカー2名	488,620	0	0	0	0	488,620	0	0	これまで、パソコンは子ども相談室の教育相談員との共有であったが、スクールソーシャルワーカー用のパソコンが用意されたことで、教育相談員との情報共有がタイミングよく効率的にでき、それに伴いスクールソーシャルワーカーが対象児童生徒や保護者と効果的に関わることができました。
12	G I G A スクール構想に係るタブレット端末の追加（小学校）	小学校コンピュータ整備事業	①新型コロナウイルス感染症対策として、小学校のオンライン授業の環境を整えることを目的としてタブレット端末を購入する。これにより、児童の学びの保障・学びの継続に資する効果がある。 ②タブレット端末127台購入（小学校学級数の約半数） ③60,600円×127台×1.1＝8,465,820円 ④市内小学校10校	8,465,820	0	0	0	0	8,465,820	0	0	市内小学校で必要な児童用の学習用タブレットの購入や、学習用タブレットの修繕を行ったことで、G I G A スクール構想を推進することができました。
13	G I G A スクール構想に係るタブレット端末の追加（中学校）	中学校コンピュータ整備事業	①新型コロナウイルス感染症対策として、中学校のオンライン授業の環境を整えることを目的としてタブレット端末を購入する。これにより、生徒の学びの保障・学びの継続に資する効果がある。 ②タブレット端末51台購入（中学校学級数の約半数） ③61,100円×51台×1.1＝3,427,710円 ④市内中学校5校	3,427,710	0	0	0	0	3,427,710	0	0	市内中学校で必要な生徒用の学習用タブレットの購入や、学習用タブレットの修繕を行ったことで、G I G A スクール構想を推進することができました。
14	湧水代官水トイレ手洗器自動水栓化	指定文化財等保護管理事業	①新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、施設トイレの手洗いを非接触で利用できるよう自動水栓に改修する。 ②需用費（施設等修繕料） ③計2か所（多目的トイレ1か所 男子用トイレ1か所）合計346,577円 ④対象施設は市指定文化財（天然記念物）「湧水代官水」（ゆうすいだいかんみず）	279,000	0	0	0	0	279,000	0	0	市指定文化財「湧水代官水」敷地内トイレの手洗いを自動水栓に改修したことで、水栓を介して人との接触機会が減少し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができました。

単位：円

計画 番号	実施計画事業	予算事業	事業概要（実施計画時点） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業費	特定財源				臨時交付金 充当額	一般財源	対象外経費	施策の効果
					国庫支出金	県支出金	寄附金	その他				
15	公民館トイレ手洗器自動水栓化	施設改修事業（公民館）	①新型コロナウイルス感染拡大防止を目的に、各公民館のトイレ手洗器を自動水栓に交換する。 ②工事請負費7,980,000円 ③中央公民館8か所：1,870,000円、東朝霞公民館6か所：1,080,000円、西朝霞公民館9か所：1,690,000円、南朝霞公民館11か所：1,920,000円、北朝霞公民館8か所：1,420,000円 計42か所：7,980,000円 ④全公民館（6館）の内、トイレ手洗器が自動水栓化となっていない5館が対象	6,600,000	0	0	0	0	6,600,000	0	0	市内公民館のトイレの手洗器を自動水栓に改修したことで、水栓を介しての人との接触機会が減少し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができました。
16	新型コロナウイルスワクチン接種移送支援補助金	新型コロナウイルスワクチン接種事業	①新型コロナウイルスワクチン接種に際して、要介護認定者の移動支援に協力してくれる通所系の介護事業所に高齢者新型コロナウイルスワクチン接種移送支援補助金を支給する。 ②介護保険の要介護認定者で移動が困難な方が多い通所系サービスの利用者を当該通所サービスの介護事業所に1人1回当たり6,000円を交付し、当該介護事業所と新型コロナウイルスワクチン接種会場等との間の送迎を協力してもらうことで、当該利用者の移動手段の確保の一助とするため。 ③（対象数）本事業を利用し令和3年8月以降に2回目の接種をして3回目の接種が令和4年4月以降となる方（25人）、本事業を利用し令和3年7月以前に2回目の接種をしたが3回目の接種が令和4年4月以降にずれ込む方（15人）、3回目の接種時に初めて本事業を利用する方（10人）、合計50人を見込む。（単価）身体介護の介護報酬（1時間から1.5時間未満の場合）である579単位（1単位10.84円）を参考に算出 579×10.84円=6,276.3円≒6,000円 ④（交付対象者）市内要介護認定者（対象施設）市内通所系介護サービス事業所	768,000	0	0	0	0	768,000	0	0	新型コロナウイルスワクチン接種移送支援補助金を交付し、介護事業所の協力を得たことにより、介護サービス利用者の移動手段を確保することができました。
18	あさか次世代エール支援金（R4予算・重点交付金分）	あさか次世代エール支援金支給事業	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、原油価格・物価高騰等により生活に影響を受けている、朝霞市の未来を担う若者に、市政に興味や愛着を持っていただき、活気あるまちを創り上げていくための一助として支援金支給という形のサポートを行う。 ②需用費、役務費、委託料（事務補助業務委託料）、補助金 ※職員人件費の計上はなし ③事務費等：10,752,000円 補助金（支援金）：20,000円×9,200人=184,000,000円 総額194,752,000円 ④19歳～24歳で、令和4年4月30日現在、市内に住居登録がある方	172,470,009	0	0	0	0	172,470,009	0	0	あさか次世代エール支援金を支給したことで、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、生活に影響を受けている朝霞市の未来を担う次世代の若者を支援し、困難の中にあっても希望を持って生活や学業に励んでいただくことができました。
19	中小・小規模事業者支援金	中小企業支援事業	①コロナ禍において原油価格・物価高騰等に直面する生活者や事業者に対する支援として、市内事業者に一律5万円を支給する。 ②補助金、委託料、郵送料、借上料 ③50,000円×2,000事業者(補助金)+1,650円×7.75時間×2人×80日×1.1(委託料)+5,000通×84円(郵送料)+327,800円(借上料)=102,998,400円 ④市内事業者	51,906,522	0	0	0	0	51,906,522	0	0	原油価格・原材料費等高騰の影響を受ける市内事業者に対して、一律5万円の支援金を支給したことで、市内事業者を支援することができました。
20	運送事業者支援金	中小企業支援事業	①コロナ禍において原油価格・物価高騰等に直面する生活者や事業者に対する支援として、運送事業者に1台につき1万～2万円を支給する。 ②補助金、委託料、郵送料、借上料 ③10,000円×528件+20,000円×1,188件(補助金)+1,650円×7.75時間×1人×80日×1.1=1,125,300円(委託料)+200通×84円(郵送料)+163,900円(借上料)=30,346,000円 ④市内運送事業者	21,620,000	0	0	0	0	9,000,469	12,619,531	0	原油価格高騰の影響を受ける運送事業者に対して、事業用貨物軽自動車1台につき1万円、それ以外の事業用貨物自動車1台につき2万円を支給したことで、市内運送事業者を支援することができました。
22	中小企業診断士による経営相談	中小企業支援事業	①新型コロナウイルスの影響を受ける事業者を支援するため、中小企業診断士による経営相談窓口を設置する。 ②委託料 ③16,500円/回(税込)×48回=792,000円 ④市内事業者	792,000	0	0	0	0	438,754	353,246	0	市内事業者が事業を継続するために、国や埼玉県の支援策や融資等を有効に活用できるよう中小企業診断士による専門の相談事業を実施したことで、市内事業者を支援することができました。

単位：円

計画 番号	実施計画事業	予算事業	事業概要（実施計画時点） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業費	特定財源				臨時交付金 充当額	一般財源	対象外経費	施策の効果
					国庫支出金	県支出金	寄附金	その他				
24 29	地域応援クーポン（重点交付金分）	中小企業支援事業	①コロナ禍での原油高や物価高の影響を受ける生活者と事業者を支援し、市内の消費喚起を図るため、地域で使用できるクーポンを全市民に配布する。 ②委託料 ③換金額 3,000円（クーポン券）×145,000人（市民）×換金率70%×奨励金（事業者支援として5%）1.05 = 319,725,000円… $\alpha$ 事務費（クーポン券印刷・発送、コールセンターの設置等）100,000,000円… $\beta$ $\alpha + \beta = 419,725,000$ 円（委託料） ④市民	457,109,472	0	0	0	0	347,451,472	109,658,000	0	コロナ禍での原油価格・物価高騰対策として、全市民に1人3,000円分の地域応援クーポンを支給したことで、市内事業者や生活者を支援することができました。
合計				783,915,777	0	0	0	0	661,285,000	122,630,777	0	